



## ～最上級学年のスタート！ 身が引き締まる最高学年～

第3学年の新学期がスタートしました。今年度もよろしくお願いいたします。  
このたびの異動により、学年主任の小塚卓人が転勤いたしました。そのこともあり、学年主任が大野聡となりました。生徒達の精神的環境を整え、それぞれの学習や進路に正面から向かえるように努めたいと考えております。よろしくお願いいたします。

本日の、始業式後の学年集会にて生徒達に伝えした内容はこのようなものでした。

- ①担任、副担任の話をよく聞き、自ら考えて行動すること。
- ②休まない、遅刻しないこと。(昨年度の皆勤は75名でした。大変素晴らしいと思います。今年度も頑張りましょう。)
- ③3年生での進路目標達成は強い意志と努力の上にある。受験までの積算学習量は良い結果を生むでしょう。学習時間を確保し続けていきましょう。
- ④学習面、部活動面において、下級生の模範となるような精神的なタフさを身につけ、昨年度の自分に勝っていこう。小さなチャレンジを積み重ねましょう。

昨年度は、1年生の時の自分を超越するチャレンジをすることができたでしょうか？

実際にこれまでの日常の生活パターンを変え、受験を意識した生活に、すでに変わっている生徒達もおります。これからは一人一人が就職・進学の実験に「覚悟」を持ち、意識を変えて立ち向かってほしいと思っております。一番必要なことは、平日の家庭学習時間です。ご家庭でも励ましをお願いいたします。

## ～3月に実施したスタディ・サポート(学習習慣と学力、志望先を確認できるもの)の結果を生徒に配布しております～

2年生8月に実施した時の結果と比較して、学年全体の学力や学習習慣は、残念ながら下がっております。国語、数学、英語の実施でしたが、特に英語はもっと努力が必要なようです。学力、学習習慣が上がるように努めたいと思います。

## 成績があがった人とあがらなかった人の学習習慣にはこのような違いがあります。

成績があがった人

- 毎日決まった時間に机に向かい、平日2時間以上、休日3時間以上の学習時間を確保している。
- 受験に向け、前向きな気持ちで努力したいと思っている。
- 授業では板書だけでなく、問いかかけをきちんと自ら考え、重要と思ったこともノートしている。
- 数学の定期試験前には、問題集等で積極的に演習を行い、質問にも通っている。
- 英語は平日1時間以上学習し、寝る直前の暗記の時間を確保している。

成績があがらなかった人

- △家庭学習にムラがあり、学習時間は平日・休日とも1時間程度。
- △今後の学習時間の目標も平日・休日とも2時間以下。
- △就職・進学の実験勉強のスタートを総体後等理由をつけて先送りしている。
- △授業は板書を写すことに集中し、考えていない。
- △数学では基本問題や問題演習さえ不足している。
- △英語の平日の学習時間が30分以下で、辞書をほとんど使わない。

← →

予習→授業→宿題・復習の学習サイクルを再度徹底したいと思います。

## 3年部スタッフ紹介

昨年度末の職員の異動に伴い、新三年部も入れ替わりがありました。学年主任、副主任、副担任が代わりましたので、ご紹介いたします。よろしくお願いいたします。

3A 担任	渡部 均	わたなべ ひとし	体育	男子バレーボール部顧問
3A副担任	石崎 諒	いしざき りょう	数学	剣道部
3B 担任	佐藤 範朋	さとう のりとも	体育	スキー部顧問
3B副担任	木村 成治	きむら しげはる	数学	吹奏楽部顧問、総務主任
3C 担任	畠山 智道	はたけやま ともり	国語	演劇部顧問
3C副担任	五代儀正人	いよぎ まさと	英語	卓球部顧問
3D 担任	齊藤祐一郎	さいとう ゆういちろう	理科	女子バレー部顧問
3D副担任	赤坂 俊彦	あかさかとしひこ	理科	科学部顧問、(野球部)、進路指導主事
学年主任	大野 聡	おおの さとし	英語	演劇部顧問
学年副主任	赤坂 俊彦	あかさか としひこ		

## ～ 年度始めの日程 ～

4月5日(水)昇降口指導、大清掃、校長着任式、新任式、始業式、学年集会、式場準備

4月6日(木)昇降口指導、入学式

8:35 - 8:45	SHR
8:55 - 9:45	LHR(入学式準備の説明・準備)
10:00 - 12:00	入学式準備
12:00 - 12:30	2, 3年生受付等担当者準備、部活動紹介等準備
12:30 - 13:00	昼食
13:00 - 13:15	2, 3年生入場
13:30 - 14:30	入学式
14:35 - 14:50	退場、休憩
15:20 -	復元作業(PTA入会式終了後)
16:00 -	清掃、SHR

4月7日(金)昇降口指導、新入生歓迎会、身体測定、スポーツテスト、部活動紹介

8:35 - 8:45	SHR
8:55 - 9:45	LHR
10:00 - 10:40	新入生歓迎会
10:40 - 11:00	部活動紹介等準備
11:00 - 12:00	部活動紹介
12:00 - 12:45	昼休み
12:45 - 13:00	身体測定、スポーツテスト説明会
13:00 - 15:00	身体測定・スポーツテスト
15:20 -	清掃、SHR

4月10日(月)

8:35 - 8:45	SHR
8:55 - 9:45	課題テスト(国語)
9:55 - 10:45	課題テスト(数学)
10:55 - 11:45	課題テスト(英語)
11:55 - 12:45	課題テスト(3AB日本史、3CD世/日/地)
13:30 - 14:20	課題テスト(3A物理基礎3BC生物基礎、3D化学)
14:30 - 15:20	業務委員会(業務委員会のない生徒はスタサポ見直し)
15:20 - 15:40	清掃・SHR

## ★ 学力をつけるために ～ ご家庭でできること ～

### ①朝食の重要性

→ 学力は単に学校の勉強だけで作られるのではありません。大切なのは生活習慣です。

→ 小学校で半数以上の子供がパン食であることがわかりました。

\* 学習はもとより、様々なことにおける集中力や辛抱強さを支えているのは食事や睡眠などの生活習慣です。パンよりもご飯・みそ汁の方が集中力や忍耐力をアップさせます。ご飯の方が長く脳に必要なブドウ糖を送り続けることができるのだそうです。

### ②深夜型への警告

→ 夕食を家族そろって食べる家庭が3割しかなかった。(夕食を2度用意する母。)その影響が子供を夜型へ。自立した生活の欠如(朝、自分で起きれない)へつながります。

\* 朝寝坊とはいえ、学校にとっては深刻な問題です。授業をきちんと成立させることが学校の第一目標。毎朝多くの生徒が遅刻しているというのは学校としては異常事態となります。夜遅くまで何かをするというのが当然のようになってきているのではないのでしょうか。バランスを欠いた学習習慣や生活習慣は授業への集中力を欠き理解力を減退させます。

### ③親の言葉で職業を語る

→ 家族団欒 → 職業観をつけるようにする

\* 親の言葉で現在の職業、失敗談、成功談を話して下さい。そのためにも食卓に家族を取り戻すことが重要です。(部活動の生徒を持つ保護者は大変かもしれませんが、週末に意識して子供と語り合ってください。)

### ④力ある生徒の特色

→ 親・本人とも温和である、時間にけじめがある、家庭に読書習慣がある、早寝早起きの習慣がある、部屋の中が整理されているなど。

\* 基本的な生活習慣が確立していることが学力向上の原動力のようです。成績の良い生徒の家庭ほど生活習慣に対して関心が高く、夜遅くまで勉強して体や生活を崩すことを一番警戒しているようです。「勉強しなさい」も必要ですが、「早く寝なさい」の声かけも良いようです。次の日の集中力が違います。就寝時間を決めることが望まれます。

### ⑤テレビやゲーム、携帯電話に1日2時間以上かける生徒に学力のある生徒はいない

→ テレビを毎日2時間以上見ている高学力の生徒はそういません。それは、学力をつける上で重要な辛抱強さが育たなくなるからです。テレビは刺激が強く、時間を忘れてひたきってしまうので、生活のけじめがなくなってしまう。学習という点からならともかく、2時間

を超えると宿題や予習などをやらずに授業を受けることになります。ましてや、3時間以上見ている生徒で確実な学力の生徒は多くありません。これは学校にとって放っておける問題ではありません。授業を受ける条件が整っていないということになり、いくら考えられた教材でも効果が出ないことになります。(山口県の小学校ではノー・テレビ・デーということ考えられ、秋田県でもノーゲームデーを実施しました。)

## ⑥ 過保護と無責任からの脱却

→ 無理をしてでも子供に快適さを与えようとする、子供から辛抱強さがなくなってきました。苦しい経験がなくなると、苦しんでいる人の気持ちがわからなくなり、人に優しく接することも難しくなってきます。(例えば、自分で通えるのに雨の日は送迎する。自分の行為(意地悪、いじめ、暴力、授業妨害など)への無反省)などは、集団生活の場である学校での生活指導が難しくなってきます。また、すべて本人任せ、学校任せでも本人の成長につながりません。

## ⑦ 朝は6時には起きる

→ まず第一に、早寝、早起き、朝ご飯、朝の排便を実行することが大切です。朝の生活が貧しい子供というのは元気がありません。その割に怒りっぽく感情が乱れやすいようです。この原因は、脳の活動が活発にならないことにあるようなので、授業に集中するためにも生活習慣を整えることは重要です。

## ⑧ 学校の授業へ集中させる

→ 早寝早起きが定着すると、授業への集中力が高まります。1日の疲れがとれた状態で学習することになるからです。短時間でも暗記力などが高まります。また、授業の何がわからないのかも明確になり、質問なども積極的にするようになります。

## ⑨ 1週間に1度家族がそろって本気の話をする

→ 一つの社会が円満に進んで行くにはそれなりの対話が必要だと思います。家族の中で何を考えているのかよくわからないという人がいると、不自然で落ち着きません。普段から家族がお互いをよく知っておくことが、心を落ち着かせる基本となると思います。一週間に一度でもいいですので、家族がそろって本気の対話をしてほしいと思います。

(以上 広島県尾道市立土堂小学校校長(当時) 蔭山秀夫氏の実践より抜粋)

## ⑩ 親離れ・子離れ、自律と自立 ～「手は離して目は離さず」～

子供たちも17才もしくは18才になります。もうすぐ巣立ちの時が確実にやってきます。

子供たちが自ら考え、自制しながら日々の生活の中で努力し、また成長し、自信を持って社会に出て行くことができるように、私たち親たちもまた、その環境に慣れなければならない時期が来ています。「手は離しても目は離さず」。必要な時には助言できる距離で見守り、励ましていきたいと思います。